

# 中小企業景況調査報告書 (福井県商工会地域)

令和4年1月～3月実績

令和4年4月～6月見通し

福井県商工会連合会



## I. 景況調査の概要

1. 調査目的 この調査は、経営指導員による訪問面接調査により福井県商工会地域中小企業の経済動向について一定時期ごとに迅速・的確に収集、提供して、経営改善普及事業を効果的に実施するものです。
2. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
3. 対象地区 あわら市、坂井市、永平寺町、福井東、福井北、福井西、越前町、越前市（池田町）、南越前町、わかさ東、おおい町（高浜町）の計11商工会
4. 対象企業数 165企業（1商工会15企業）
5. 回答企業数 165企業（回答率100%）
6. 調査対象期間 令和4年1～3月期実績及び令和4年4～6月期見通し
7. 調査時点 令和4年3月1日（火）
8. 回答企業内訳

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	38	23.0%	38	23.0%	100.0%
建設業	24	14.5%	24	14.5%	100.0%
小売業	51	30.9%	51	30.9%	100.0%
サービス業	52	31.5%	52	31.5%	100.0%
合計	165	100.0%	165	100.0%	100.0%

### 9. DI値（ディフュージョン・インデックス、景気動向指数）

企業の景気動向を示す指標です。各調査項目について〈増加・上昇・好転〉の割合からDI値がプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となります。

$$DI（数式） = （上昇企業数 - 低下企業数） \div 回答企業数 \times 100$$

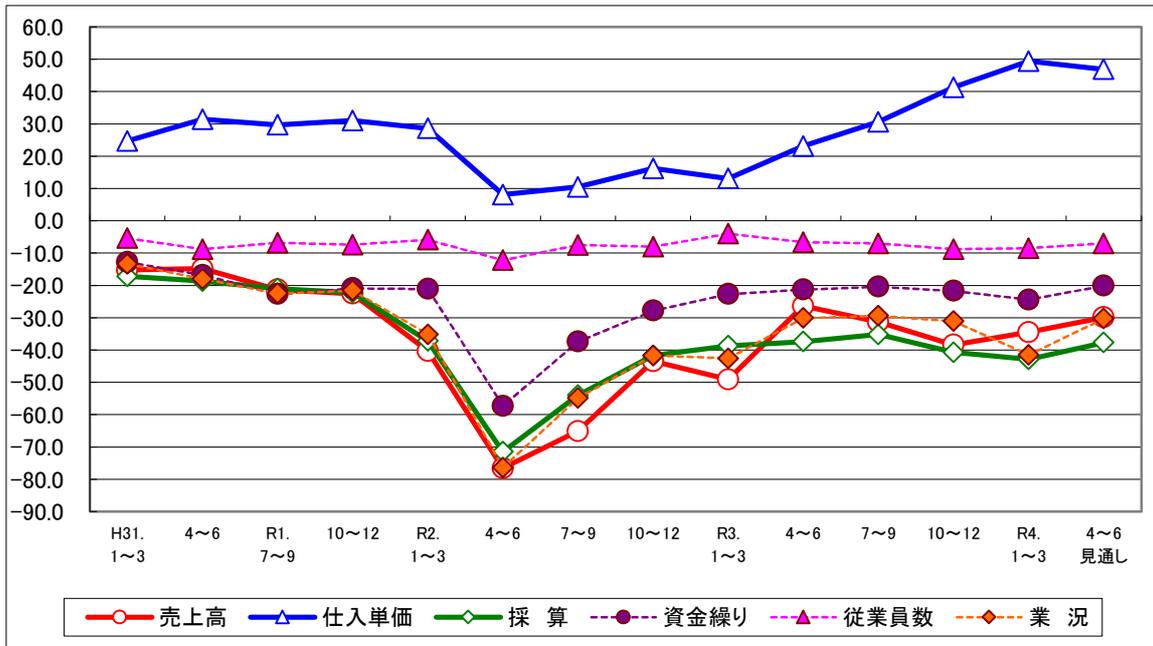
### 10. 分析執筆者 福井県立大学 地域経済研究所長 所長 南保 勝 氏

## 全体(福井県商工会地域中小企業)の景況

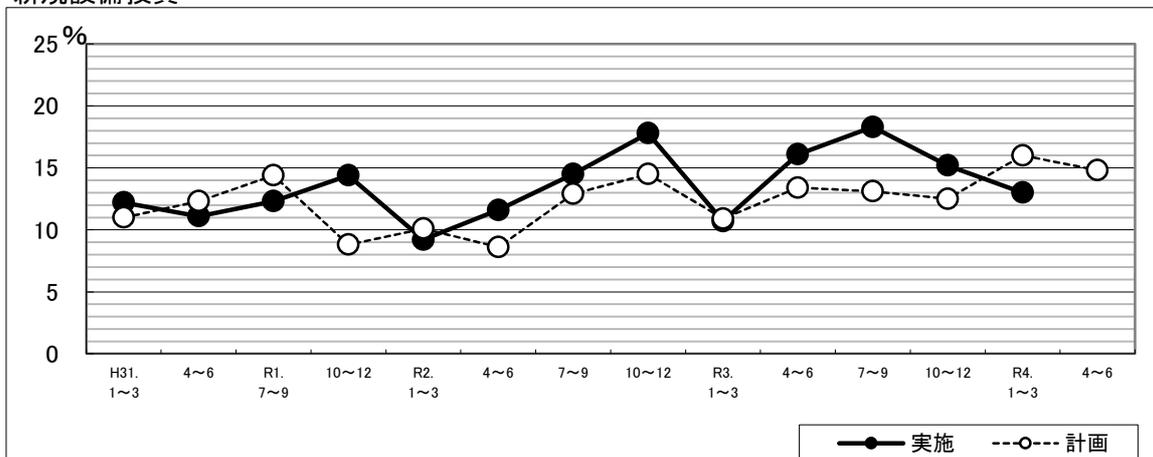
### 景気動向推移(前年同期比:DI値)

期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H31.1~3	▲ 15.2	24.7	▲ 17.2	▲ 12.8	▲ 5.4	▲ 13.4
4~6	▲ 14.8	31.4	▲ 18.7	▲ 16.8	▲ 8.8	▲ 18.0
R1.7~9	▲ 21.3	29.7	▲ 21.0	▲ 22.7	▲ 6.8	▲ 22.5
10~12	▲ 22.6	31.0	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 7.4	▲ 21.6
R2.1~3	▲ 40.3	28.6	▲ 37.2	▲ 21.1	▲ 5.9	▲ 35.2
4~6	▲ 76.6	8.1	▲ 71.5	▲ 57.3	▲ 12.2	▲ 76.4
7~9	▲ 65.1	10.5	▲ 54.0	▲ 37.4	▲ 7.5	▲ 54.9
10~12	▲ 43.5	16.2	▲ 41.7	▲ 27.8	▲ 8.0	▲ 41.7
R3.1~3	▲ 49.1	13.1	▲ 38.7	▲ 22.7	▲ 4.0	▲ 42.6
4~6	▲ 26.4	23.1	▲ 37.4	▲ 21.3	▲ 6.6	▲ 30.1
7~9	▲ 31.3	30.6	▲ 35.2	▲ 20.4	▲ 7.0	▲ 29.4
10~12	▲ 38.4	41.3	▲ 40.7	▲ 21.7	▲ 8.8	▲ 31.1
R4.1~3	▲ 34.5	49.4	▲ 42.9	▲ 24.4	▲ 8.5	▲ 41.5
4~6見通し	▲ 29.9	46.9	▲ 37.7	▲ 20.1	▲ 7.0	▲ 30.3

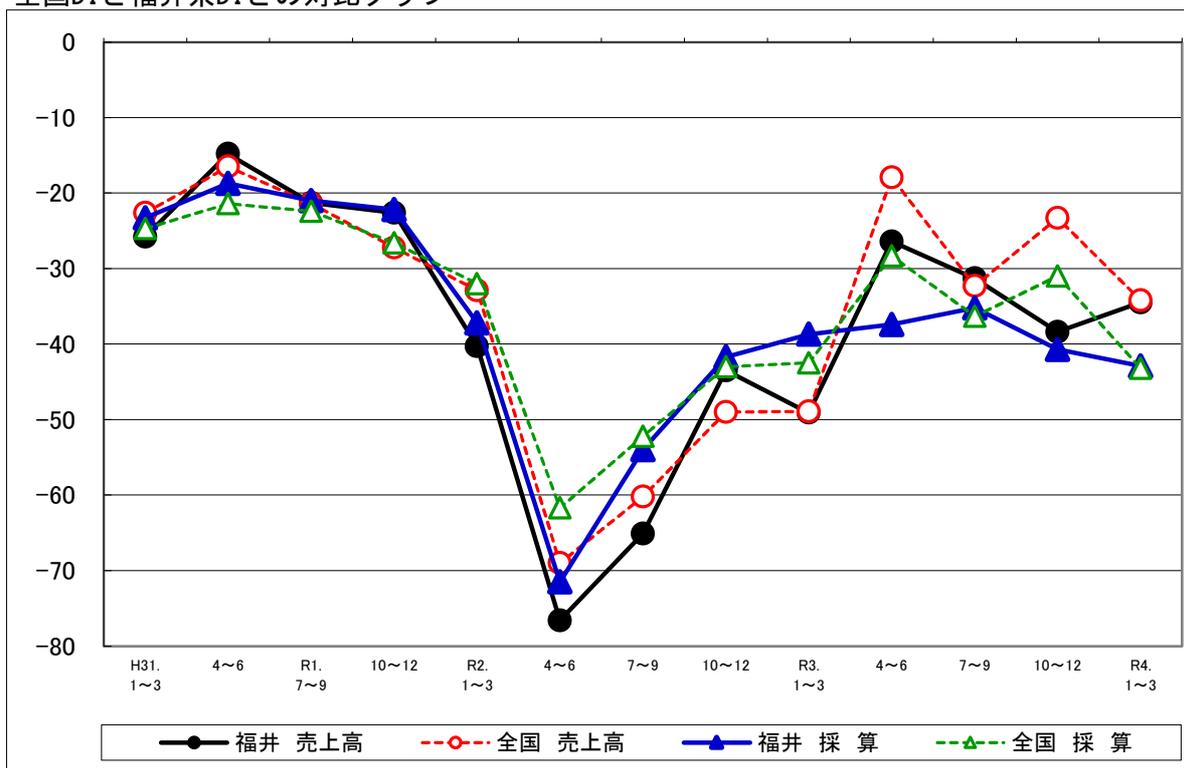
※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。



### 新規設備投資



全国DIと福井県DIとの対比グラフ



全体の景況

R4年1-3月期の福井県経済を概観すると、需要面では、各種の大型専門店が新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの概ね持ち直している。また、供給面でも、原材料高、部品不足、特に半導体不足などを背景に業種・規模による操業度合いのバラツキがみられるものの、全体としては持ち直している。ただ、先行きについては、引き続きコロナ蔓延による影響や、ウクライナ情勢等による世界的な不透明感の増幅の中、原材料価格の上昇、金融市場の変動、供給制約等による下振れリスクに注意する必要がある。

こうした状況下、今期（R4年1-3月期）の景況調査をみると、全体では景況感を示すDI値6項目中4項目で悪化傾向を示しており、県内企業では先行き経済環境に不安を抱く企業が増加していることをうかがわせている。項目ごとのDI値をみると、売上高が前期▲38.4→今期▲34.5へ、仕入単価（逆指数）が41.3→49.4へ、採算が前期▲40.7→今期▲42.9へ、資金繰りが前期▲21.7→今期▲24.4へ、従業員数が前期▲8.8→今期▲8.5へ、業況が前期▲31.1→今期▲41.5へと変化している。また、先行き（R4年4-6月期）については、6項目全てが改善予測となっている。

一方、売上高と採算のDI値を全国と比較すると、全国が売上高、採算ともに悪化する中、福井県企業では売上高が改善しており、全国に比べ景況に対する改善傾向がやや強いことがうかがえる。

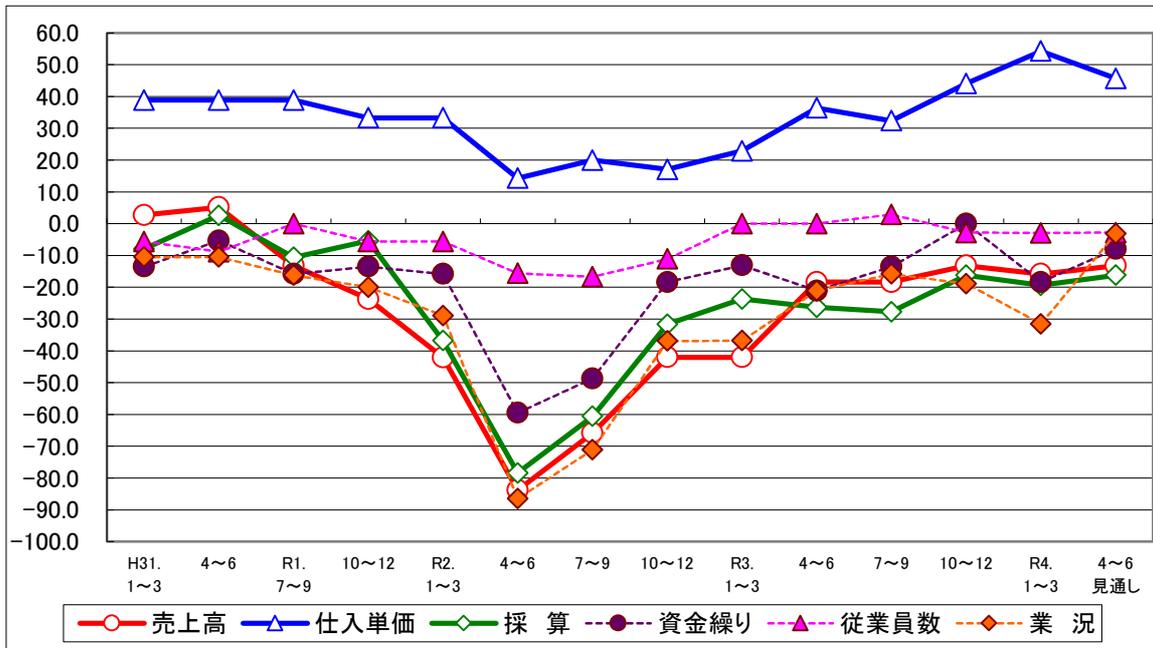
そのほか、今期の新規設備投資については、設備投資を計画した企業ウエイト16.0%に対し実施した企業ウエイト13.0%と微減したが、先行き（R4年4-6月期）については、何らかの投資を計画する企業ウエイトが14.8%となり、今期並みの投資が期待される。

## 製造業(福井県商工会地域中小企業)の景況

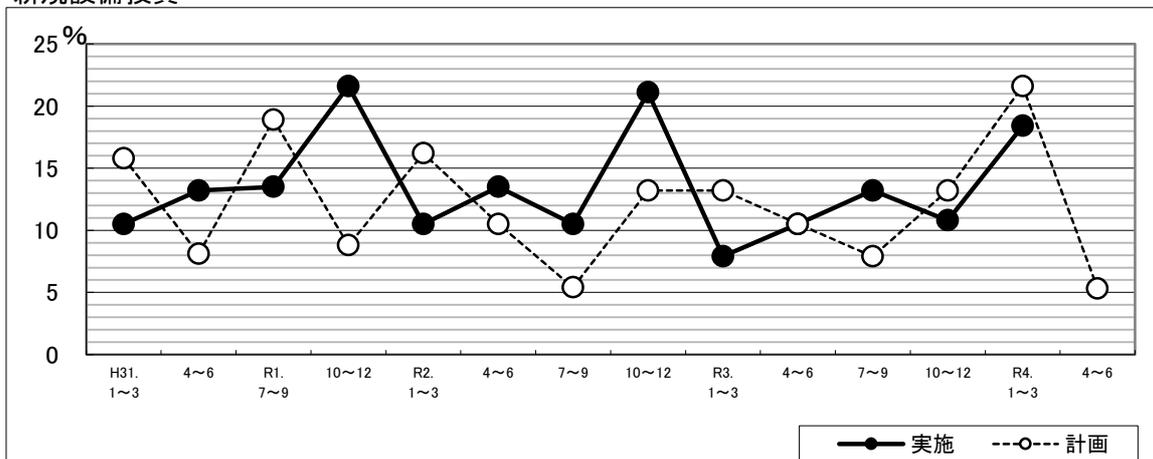
### 景気動向(前年同期比:DI値)

期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H31.1~3	2.7	38.9	▲ 7.9	▲ 13.5	▲ 5.6	▲ 10.5
4~6	5.2	38.9	2.6	▲ 5.3	▲ 8.8	▲ 10.5
R1.7~9	▲ 13.2	38.9	▲ 10.6	▲ 15.8	0.0	▲ 16.2
10~12	▲ 23.7	33.3	▲ 5.4	▲ 13.5	▲ 5.6	▲ 20.0
R2.1~3	▲ 42.1	33.3	▲ 36.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 28.9
4~6	▲ 83.8	14.3	▲ 78.4	▲ 59.5	▲ 15.6	▲ 86.5
7~9	▲ 65.8	20.0	▲ 60.6	▲ 48.7	▲ 16.7	▲ 71.1
10~12	▲ 42.0	17.1	▲ 31.6	▲ 18.4	▲ 11.1	▲ 36.9
R3.1~3	▲ 42.0	22.9	▲ 23.7	▲ 13.1	0.0	▲ 36.8
4~6	▲ 18.4	36.4	▲ 26.3	▲ 21.1	0.0	▲ 21.1
7~9	▲ 18.4	32.4	▲ 27.7	▲ 13.5	2.9	▲ 15.8
10~12	▲ 13.2	44.1	▲ 16.2	0.0	▲ 2.8	▲ 18.9
R4.1~3	▲ 15.8	54.3	▲ 19.4	▲ 18.4	▲ 2.9	▲ 31.5
4~6見通し	▲ 13.2	45.7	▲ 16.2	▲ 7.9	▲ 2.8	▲ 3.1

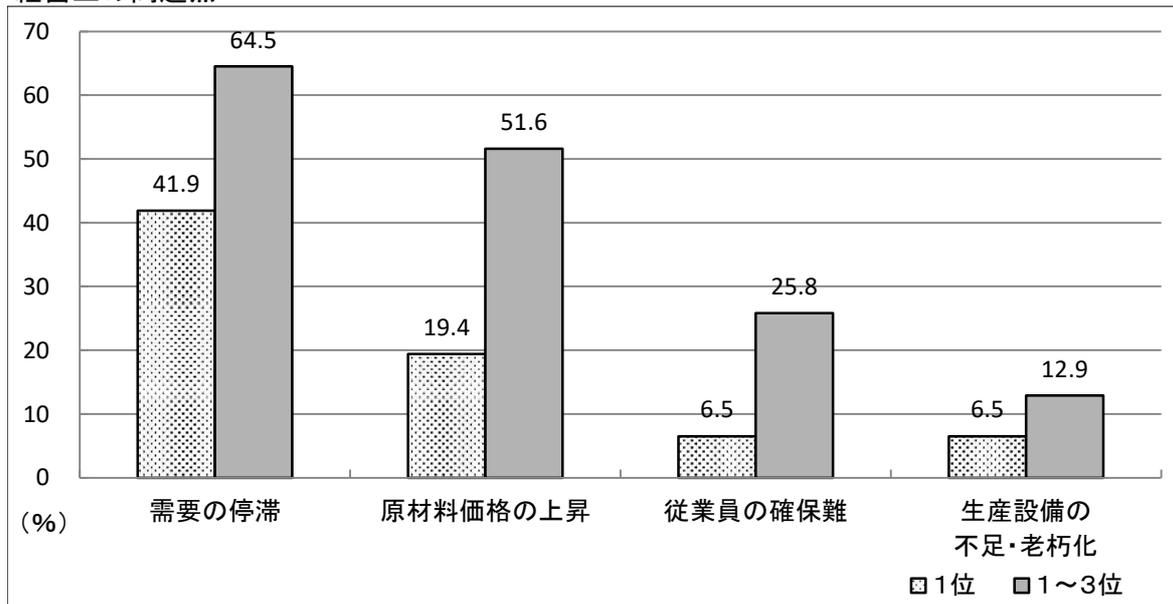
※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。



### 新規設備投資



## 経営上の問題点



## 調査企業の声

- ・今まで中止されていたイベントや展示会等が開催されつつあり、量産の受注も増えてきた。しかし、まだまだ先の見通しがわからない状況である。
- ・業況は良いが、電気ガソリン代の上昇により思ったほどの利益が出ていない。
- ・外国人研修生に頼っていることが多く、新規入国が出来ず、帰国者ばかりが増えてい、人員が不足している。いつ入国できるかもいつまでいれるかも分からず、人員の確保が難しい。

## 製造業の景況

最近の県内製造業を概観すると、機械工業は、輸送機械で回復に向けた動きが緩やかとなっているほか、化学工業では医薬品などを中心に一進一退の状況が続いている。しかし、主力の電子部品・デバイスで、スマートフォン向けを中心に順調な生産動向を維持。繊維工業も、苦戦が続いた衣料品分野で横這い傾向となっているほか、堅調な非衣料分野を含めると、全体でも持ち直している。そのほか、眼鏡枠やプラスチック、非鉄金属も堅調となっていることから、県内製造業全体では持ち直しているといえよう。

ただ、今期（R4年1～3月期）の景況調査をみると、全体では景況感を示すDI値6項目全てで悪化傾向を示している。やはり、新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ侵攻の長期化による世界経済への不安感、原材料価格の上昇、供給制約等の問題が福井県企業にも大きな懸念材料となっていることがうかがえる。各項目のDI値をみると、売上高が前期▲13.2→今期▲15.8、仕入単価（逆指数）が前期44.1→今期54.3、採算が前期▲16.2→今期▲19.4、資金繰りが前期0.0→今期▲18.4、従業員数が前期▲2.8→今期▲2.9、業況が前期▲18.9→今期▲31.5となっている。また、先行き（R4年4～6月期）については、6項目全てが改善予測を示しており、来期は若干の期待が持てそうである。

一方、新規設備投資の状況については、計画の21.6%に対し実施が18.4%となるなど、まずまずの投資状況となった。ただ、先行き（R4年4～6月期）については、何らかの投資を予定する企業が5.3%と、低調なものとなっている。

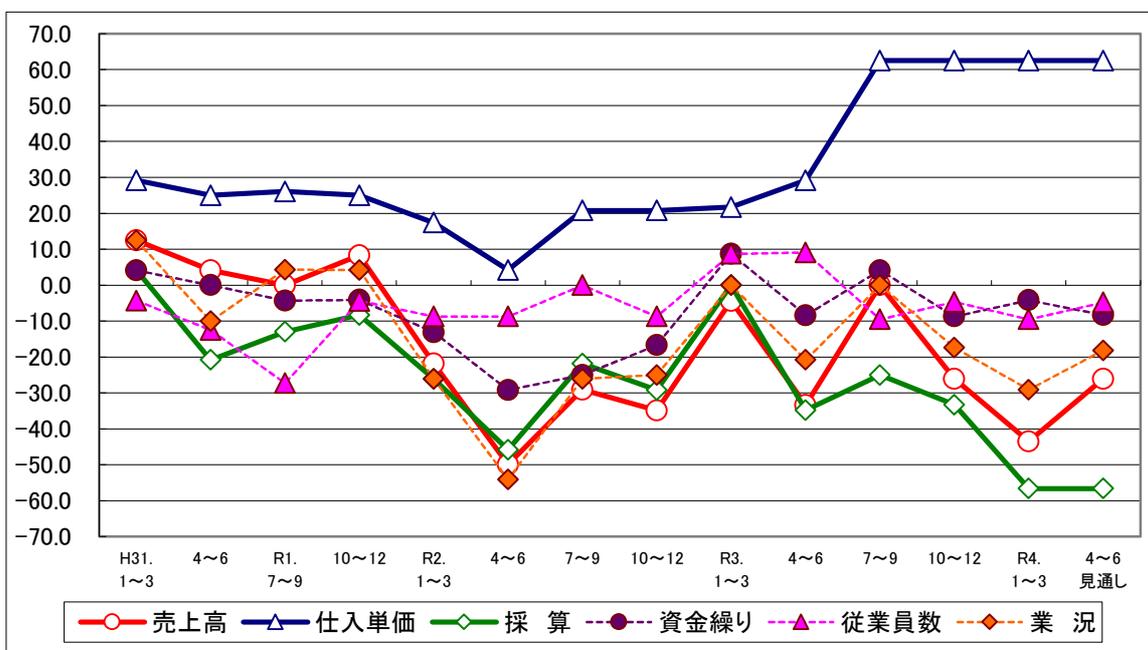
最後に、経営上の問題点については、1位に挙げた企業ウエイトが「需要の停滞」で最も多く41.9%（1位～3位までに挙げた企業64.5%）を占めた。個別の見解としては、「業況は良いが、電気ガソリン代の上昇により思ったほどの利益が出ていない」、「外国人研修生に頼っていることが多く、新規入国が出来ず、帰国者ばかりが増え、人員が不足している」など、悲観的な見解が多くみられた。

## 建設業(福井県商工会地域中小企業)の景況

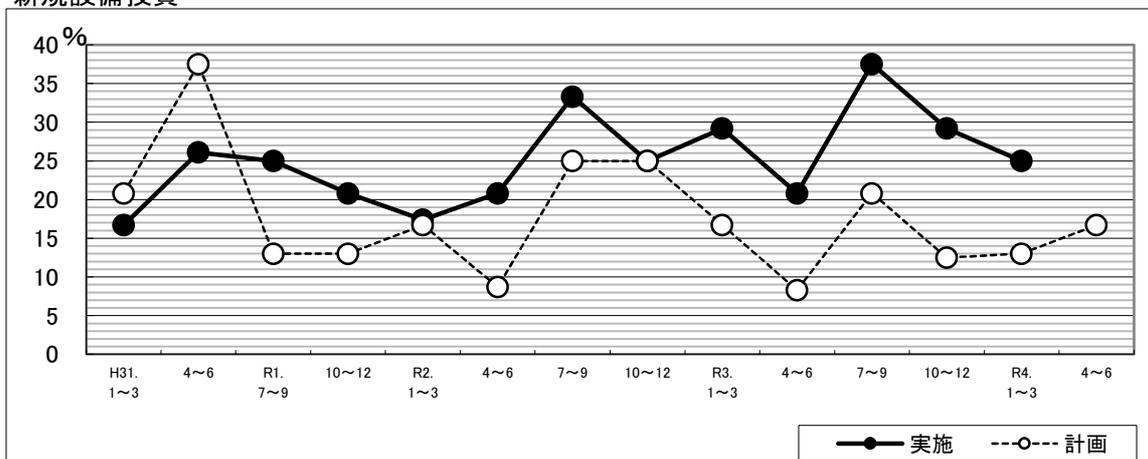
### 景気動向(前年同期比:DI値)

期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H31.1~3	12.5	29.2	4.2	4.1	▲ 4.3	12.5
4~6	4.1	25.0	▲ 20.8	0.0	▲ 12.5	▲ 10.0
R1.7~9	0.0	26.1	▲ 13.0	▲ 4.3	▲ 27.3	4.3
10~12	8.3	25.0	▲ 8.3	▲ 4.1	▲ 4.4	4.2
R2.1~3	▲ 21.8	17.4	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.7	▲ 26.1
4~6	▲ 49.9	4.2	▲ 45.8	▲ 29.2	▲ 8.7	▲ 54.1
7~9	▲ 29.1	20.8	▲ 21.8	▲ 25.0	0.0	▲ 26.1
10~12	▲ 34.9	20.8	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 8.7	▲ 25.0
R3.1~3	▲ 4.4	21.7	0.0	8.7	8.7	0.0
4~6	▲ 33.4	29.2	▲ 34.8	▲ 8.4	9.1	▲ 20.8
7~9	0.0	62.5	▲ 25.0	4.1	▲ 9.5	0.0
10~12	▲ 26.1	62.5	▲ 33.3	▲ 8.7	▲ 4.7	▲ 17.4
R4.1~3	▲ 43.5	62.5	▲ 56.6	▲ 4.2	▲ 9.5	▲ 29.1
4~6見通し	▲ 26.1	62.5	▲ 56.6	▲ 8.3	▲ 4.8	▲ 18.2

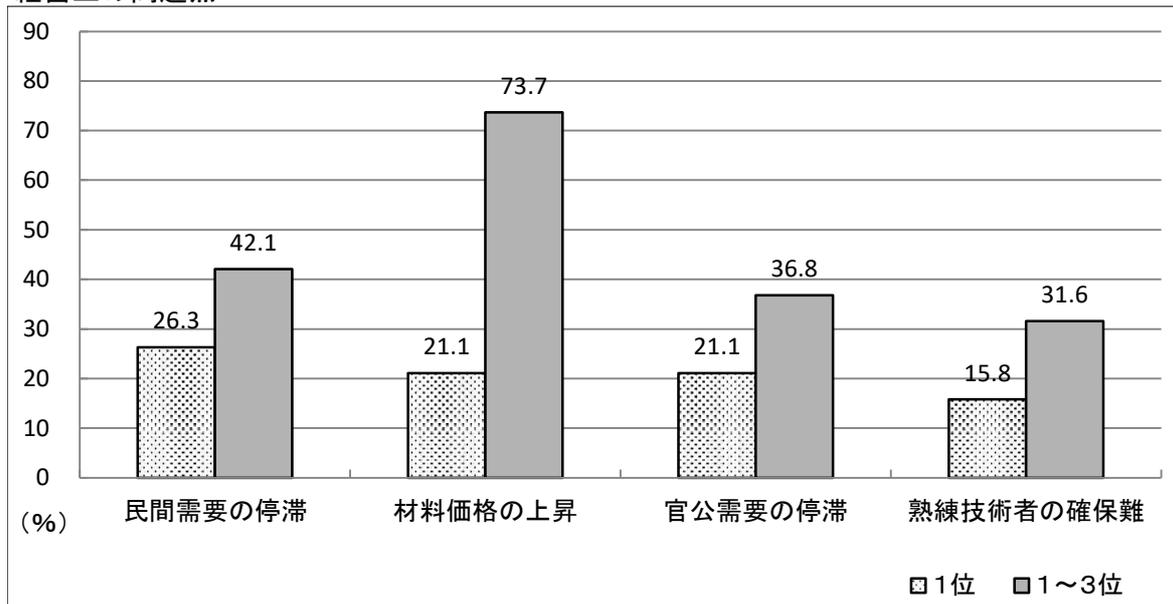
※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。



### 新規設備投資



## 経営上の問題点



## 調査企業の声

- ・コロナの影響で公共工事が減少している。昨年の豪雨での災害復旧工事は多く発注されているが、採算の取れない工事が多く利益が見込めない。
- ・住宅建設は引合い多いが、材料の値上げが4月から控えており不安要素である。
- ・年度末であり現場の方は忙しいものの、新型コロナの状況もあり来期の見通しが不透明である。

## 建設業の景況

福井県内におけるR3年度（R3年4—R4年3月）の公共工事発注状況（資料：東日本建設業保証株式会社）をみると、請負金額は累計で1,569億18百万円の前年同期比18.2%の減少、発注件数は同3,439件の同5.5%の減少となっている。これを主な発注者別でみると、福井県関連工事が467億88百万円の前年同期比7.0%減、独立行政法人等関連工事が462億86百万円の同27.1%減となっている。

一方、住宅投資については、R3年4—R4年1月の累計で、前年同期比36.4%増の4,482戸であった。利用関係別では、主力の持家が前年同期比6.8%増の2,116戸、貸家が同65.2%増の1,644戸となっている。ただ、住宅業界では、引き続き木材価格の高騰とともに住宅部材の品薄傾向が続いており、今後の着工戸数の伸びに影響してくることが懸念されている。

こうした中、今回の景況調査をみると、景況感を示すDI値6項目のうち資金繰りのみが改善、残る5項目で横這い或いは悪化傾向を示した。各項目別のDI値をみると、売上高が前期▲26.1→今期▲43.5、仕入単価（逆指数）が前期62.5→今期62.5、採算が前期▲33.3→今期▲56.6、資金繰りが前期▲8.7→今期▲4.2、従業員数が前期▲4.7→今期▲9.5、業況が前期▲17.4→今期▲29.1となっている。また、先行き（R4年4—6月期）については、改善予測が3項目となり、多少の持ち直しが期待できる。

一方、今期の新規設備投資については、計画した企業13.0%に対し実施した企業が25.0%となり、計画を実施が大幅に上回っている。また、先行き（R4年4—6月期）については、何らかの投資計画を持つ企業が今期同様の16.0%となり、まずまずの投資動向が予想される。

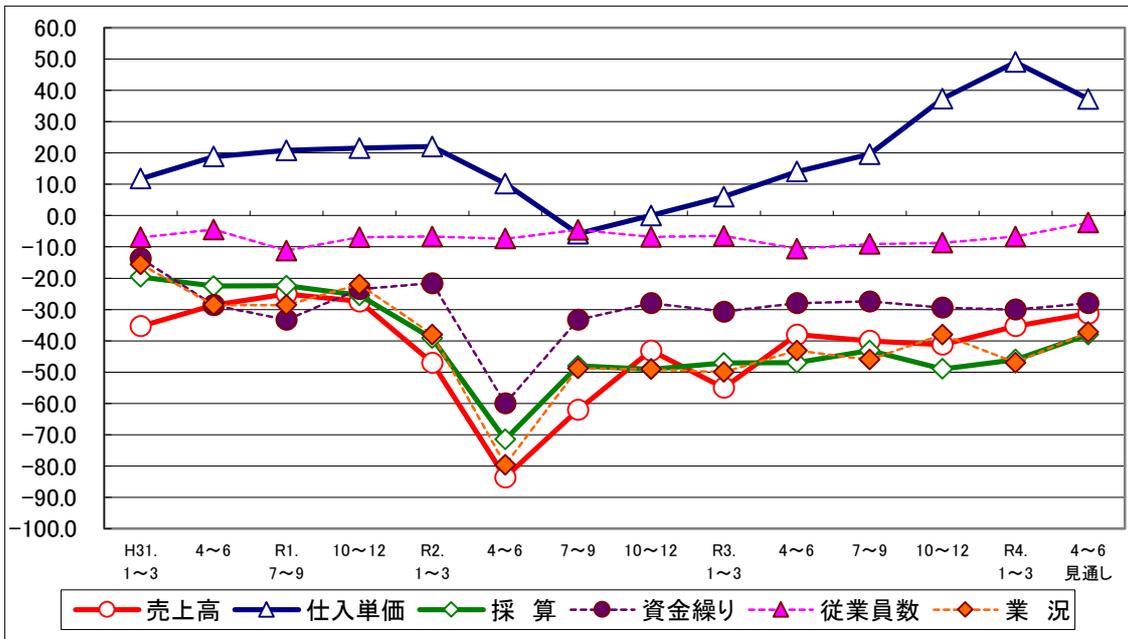
最後に、経営上の問題点については、1位に挙げた企業ウエイトが「民間需要の停滞」で最も多く26.3%（1位～3位に挙げた企業42.1%）を占めた。次いで、「材料価格の上昇」（1位に挙げた企業21.1%、1位～3位に挙げた企業73.7%）が続いている。その他の見解としては、「コロナの影響で公共工事が減少している。災害復旧工事は多く発注されているが、採算の取れない工事が多く利益が見込めない」、「住宅建設は引合い多いが、材料の値上げが4月から控えており不安要素である」など、悲観的な声が聞かれた。

## 小売業(福井県商工会地域中小企業)の景況

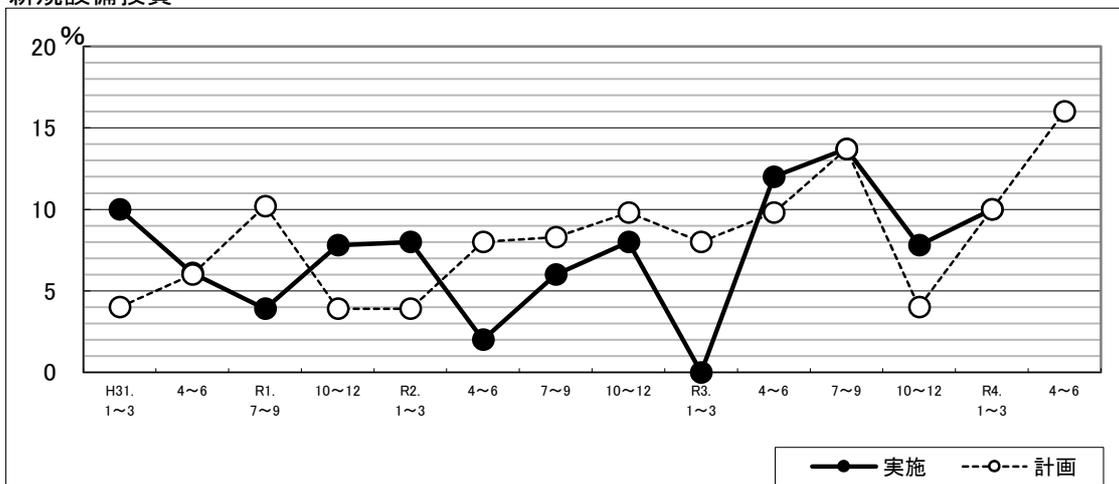
### 景気動向(前年同期比:DI値)

期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H31.1~3	▲ 35.3	11.8	▲ 19.6	▲ 13.7	▲ 7.0	▲ 15.6
4~6	▲ 28.6	18.8	▲ 22.5	▲ 28.6	▲ 4.5	▲ 28.6
R1.7~9	▲ 25.0	20.8	▲ 22.4	▲ 33.3	▲ 11.2	▲ 28.6
10~12	▲ 27.4	21.5	▲ 25.5	▲ 23.5	▲ 6.9	▲ 22.0
R2.1~3	▲ 47.0	22.0	▲ 39.2	▲ 21.6	▲ 6.7	▲ 38.0
4~6	▲ 83.6	10.2	▲ 71.5	▲ 60.0	▲ 7.4	▲ 79.6
7~9	▲ 62.0	▲ 5.8	▲ 48.0	▲ 33.3	▲ 4.6	▲ 48.8
10~12	▲ 43.1	0.0	▲ 49.1	▲ 28.0	▲ 6.8	▲ 49.1
R3.1~3	▲ 55.0	6.0	▲ 47.1	▲ 30.7	▲ 6.5	▲ 50.0
4~6	▲ 38.0	14.0	▲ 47.0	▲ 28.0	▲ 10.6	▲ 43.1
7~9	▲ 40.0	19.6	▲ 43.1	▲ 27.4	▲ 9.1	▲ 46.0
10~12	▲ 41.2	37.3	▲ 49.0	▲ 29.4	▲ 8.7	▲ 38.0
R4.1~3	▲ 35.3	49.0	▲ 46.0	▲ 30.0	▲ 6.7	▲ 47.0
4~6見通し	▲ 31.3	37.2	▲ 38.0	▲ 28.0	▲ 2.3	▲ 37.2

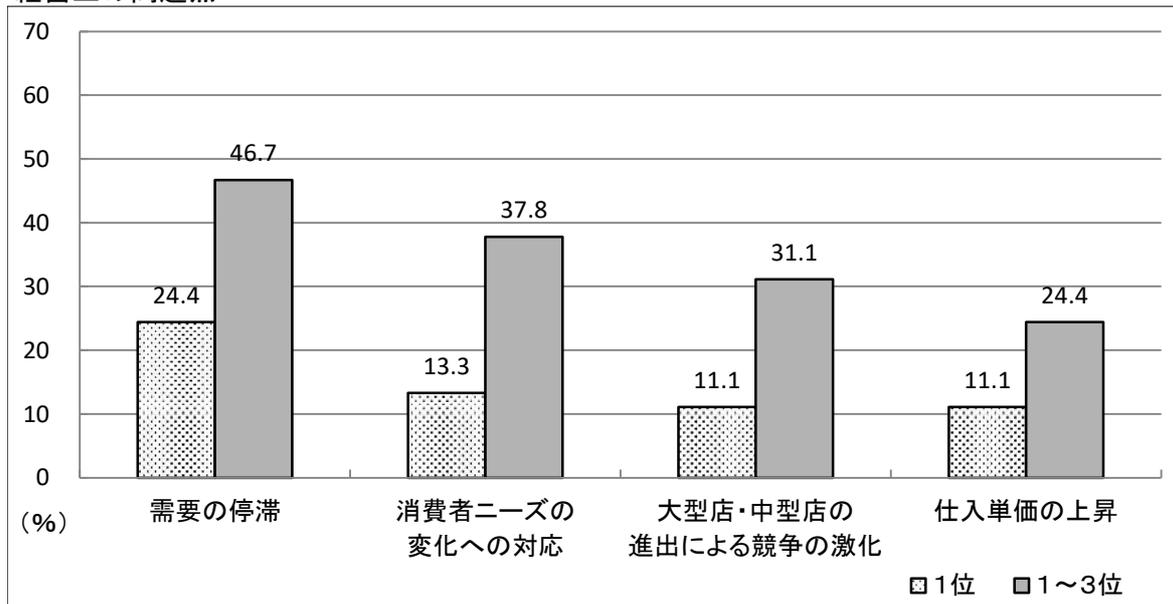
※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。



### 新規設備投資



## 経営上の問題点



## 調査企業の声

- ・商品の入荷が思うように入らず。又4月以降の値上げの話が多い。需要も今年に入り、停滞状況。今後の販売を思案中。商品販売よりも、他の仕事を勉強、実施していきたい。
- ・人件費、水道光熱費等経費の増加に帯収益が減少し、採算が悪化している。売り上げは前年比マイナスである。厳しい状況が続いている。
- ・コロナによるイベント、集会等が中止になり、大口の販売ができない。

## 小売業の景況

最近の小売商況をみると、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、食品スーパー、ドラッグストアなど地域の専門店を中心に総じて持ち直している。参考までに、近畿経済産業局が公表するR4年1月の県内大型店売上高（百貨店＋スーパー、全店ベース）（速報値）をみると、飲食料品、家電製品は不冴えながら、衣料品や身の回り品等の売れ行きがよいことなどから、前年同月比で3.8%増加し、77億68百万円と、2か月連続の増加となった。

こうした中、今回の景況調査では、景況感を示すDI値6項目中4項目で悪化傾向を示している。ちなみに、項目別の状況をみると、売上高が前期▲41.2→今期▲35.3、仕入単価（逆指数）が前期37.3→今期49.0、採算が前期▲49.0→今期▲46.0、資金繰りが前期▲29.4→今期▲30.0、従業員数が前期▲8.7→▲6.7、業況が前期▲38.0→今期▲47.0となっている。先行き（R4年4～6月期）については、すべての項目で改善予測が立てられている。

一方、新規設備投資の状況については、今期、計画の10.0%に対し実施は10.0%となるなど、堅調な推移となった。先行き（R4年4～6月期）については、何らかの投資を計画する企業ウエイトが16.0%となり、投資マインドがさらに上向くことが期待される。

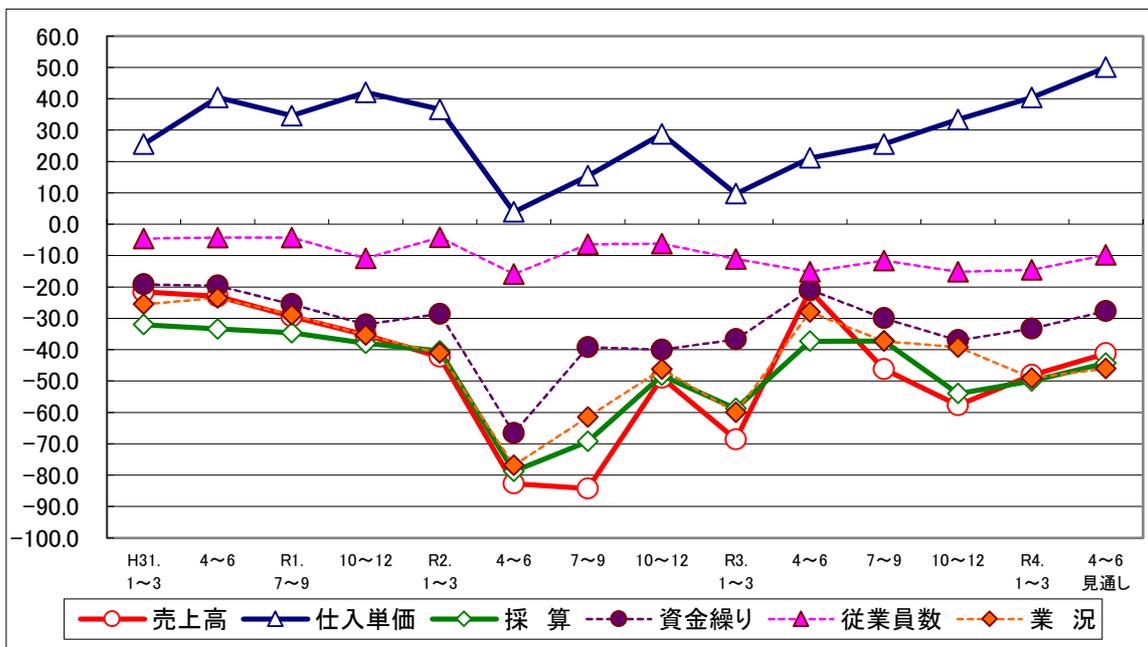
最後に、経営上の問題点については、「需要の停滞」が最も多く、1位に挙げた企業ウエイト24.4%、1位～3位までに挙げた企業46.7%となった。その他の見解としては、「人件費、水道光熱費等経費の増加が進んでいる。これに対し、売上は前年比マイナス、厳しい経営環境が続いている」、「コロナによるイベント、集会等が中止になり、大口の販売ができない」など、悲観的な見解が目立っている。

## サービス業(福井県商工会地域中小企業)の景況

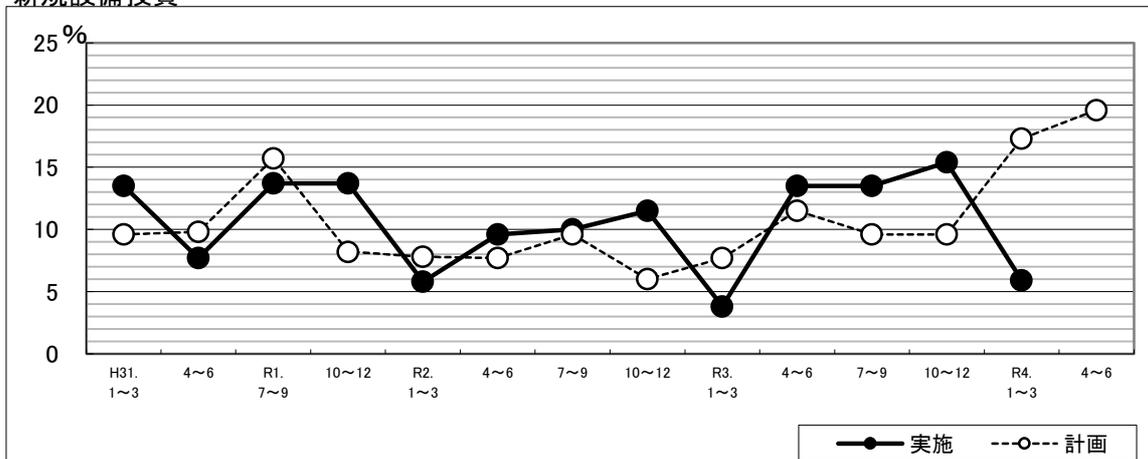
### 景気動向(前年同期比:DI値)

期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H31.1~3	▲ 21.6	25.5	▲ 32.0	▲ 19.2	▲ 4.6	▲ 25.5
4~6	▲ 23.0	40.4	▲ 33.4	▲ 19.6	▲ 4.3	▲ 23.5
R1.7~9	▲ 29.4	34.6	▲ 34.6	▲ 25.5	▲ 4.3	▲ 28.9
10~12	▲ 35.3	42.0	▲ 38.0	▲ 32.0	▲ 10.9	▲ 35.4
R2.1~3	▲ 42.3	36.6	▲ 40.4	▲ 28.6	▲ 4.2	▲ 41.1
4~6	▲ 82.7	3.9	▲ 78.8	▲ 66.6	▲ 15.9	▲ 76.9
7~9	▲ 84.3	15.4	▲ 69.3	▲ 39.2	▲ 6.4	▲ 61.5
10~12	▲ 49.0	28.8	▲ 48.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 46.2
R3.1~3	▲ 68.6	9.7	▲ 58.8	▲ 36.7	▲ 11.1	▲ 60.0
4~6	▲ 21.2	21.1	▲ 37.3	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 28.0
7~9	▲ 46.2	25.5	▲ 37.2	▲ 30.0	▲ 11.6	▲ 37.3
10~12	▲ 57.7	33.4	▲ 54.0	▲ 37.0	▲ 15.2	▲ 39.2
R4.1~3	▲ 48.1	40.4	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 14.6	▲ 49.1
4~6見通し	▲ 41.2	50.0	▲ 44.3	▲ 27.7	▲ 9.8	▲ 46.0

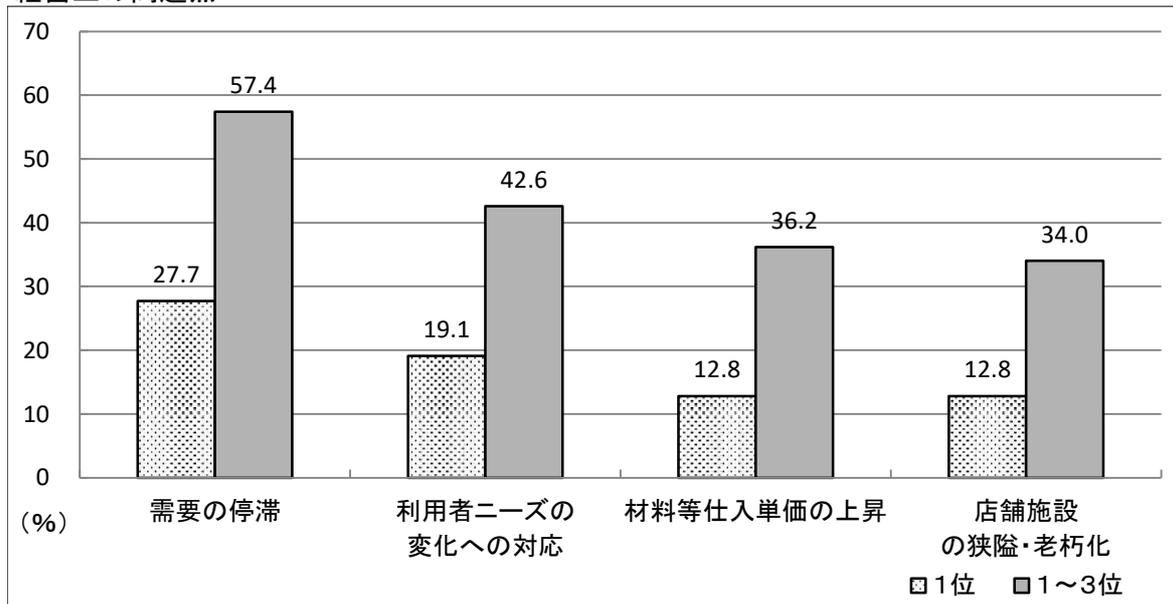
※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。



### 新規設備投資



## 経営上の問題点



## 調査企業の声

- ・1月に入り再び第6波感染症拡大の為、新年会、会食すべてキャンセルとなり2月に入り家族連れも少なく夜8時過ぎると客足も減少。仕込もギリギリにしてムダにならないように考えている。
- ・コロナで経費がこれからもかかる事を考えると、客単価を上げることも考えないといけない。
- ・コロナや人口減少によるまたは高齢化による利用者ニーズの変化への対応をこのままでいつまで耐えられるかが心配。

## サービス業の景況

経済産業省が毎月公表する「第3次産業活動指数」（R4年1月、季節調整値）は、対事業所サービスが1.8%の上昇となる一方、対個人サービスが2.3%の低下となり、サービス産業全体では、前月比マイナス0.7%と、5か月ぶりの低下となった。ただ、1月時点の基調判断は、「一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き」に据え置かれている。

こうした中、今回の景況調査をみると、DI値6項目中4項目で改善傾向を示している。項目別の指数を見ると、売上が前期▲57.7→今期▲48.1、仕入単価（逆指数）が前期33.4→今期40.4、採算が前期▲54.0→今期▲50.0、資金繰りが前期▲37.0→今期▲33.3、従業員数が前期▲15.2→今期▲14.6、業況が前期▲39.2→今期▲49.1となっている。また、先行き（R4年4-6月期）については、仕入単価を除く5項目が改善予測となっており、県内サービス業ではいまだ大幅な水面下ながら、経営環境の持ち直しが期待される。

一方、新規設備投資については、計画17.3%に対し実施が5.9%となり、低調な投資動向となった。ただ、先行き（R4年4-6月期）については、何らかの投資を考える企業ウエイトが19.6%となっており、投資マインドの上昇が期待される。

最後に、経営上の問題点については、前回同様、「需要の停滞」（1位に挙げた企業ウエイト27.7%、1位～3位までに挙げた企業57.4%）への指摘が最も多かった。また、個別の見解としては、「1月に入り再び第6波感染症拡大の為、新年会、会食すべてキャンセルとなっている」「2月に入り家族連れも少なく、夜8時過ぎると客足も減少し、仕込みもギリギリにしてムダにならないように考えている」など、厳しいコメントが目立っている。

全国・福井景気動向 令和4年1月～3月（対前年同期比：DI値）

DI値	100～15.1	15～0.1	0～-15	-15.1～ -40	-40.1～ -100
天気図					
傾向	好転	やや好転	やや悪化	悪化	大幅に悪化

業種別 / 項目別	売上額	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況	
全国	全体						
	DI値	▲ 34.2	58.1	▲ 43.2	▲ 25.7	▲ 5.6	▲ 34.5
	製造業						
	DI値	▲ 15.5	67.1	▲ 30.5	▲ 18.8	▲ 6.5	▲ 22.8
	建設業						
	DI値	▲ 26.4	74.0	▲ 33.5	▲ 12.3	▲ 3.5	▲ 22.6
	小売業						
	DI値	▲ 38.8	44.1	▲ 49.0	▲ 29.6	▲ 3.8	▲ 45.9
福井	サービス業						
	DI値	▲ 46.0	47.0	▲ 49.8	▲ 32.2	▲ 8.6	▲ 46.5
	全体						
	DI値	▲ 34.5	49.4	▲ 42.9	▲ 24.4	▲ 8.5	▲ 41.5
	製造業						
	DI値	▲ 15.8	54.3	▲ 19.4	▲ 18.4	▲ 2.9	▲ 31.5
	建設業						
	DI値	▲ 43.5	62.5	▲ 56.6	▲ 4.2	▲ 9.5	▲ 29.1
小売業							
DI値	▲ 35.3	49.0	▲ 46.0	▲ 30.0	▲ 6.7	▲ 47.0	
サービス業							
DI値	▲ 48.1	40.4	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 14.6	▲ 49.1	

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。